



研究部会報告

●新社会システム●

●第12回

日時：昭和62年10月30日(金) 16:00～17:30

場所：北海道電力㈱ 出席者：20名

テーマと講師：「LP-calculator」によるパソコン上での線形計画法 大柳俊夫(北海道大学工学部)

第2回目OR本学会事例研究奨励賞(ソフトウェア部門)受賞のソフトを紹介していただいた。誰もが電卓並みの手軽さで中規模のLP問題を解くことができるよう入力フォーマットや環境が工夫されている。Modula-2でコードが記述され、拡張性に富むソフトとなっている。

●第13回

日時：12月17日(木) 16:00～17:30

場所：郵政会館 出席者：18名

テーマと講師：LP新解法について 大堀隆文(北海道工業大学電気工学科)

最近発表された線形計画法の新解法であるKarmarkar法の基本的な考え方とアルゴリズムを解説していただいた。また、スパース性を考慮したコード生成法の工夫に関する研究成果を発表していただいた。実験によると、シンプレックス法と同等程度以上の計算時間が得られた。

●交通・流通システム●

●第7回

日時：昭和62年11月19日(木) 18:00～20:00

場所：東洋経済新報社会議室(日本橋) 出席者：12名

テーマと講師：チェーンストアの現状・課題・展望 大平国彦(㈱イトーヨーカ堂 物流部長)

経済成長が安定し、消費者主導型に変わり、顧客ニーズの個性化・多様化、ライフサイクルの短縮化の現状の中で、チェーンストアの競争の激化が進んでいる。取扱商品数は6万点におよぶので、ロス(死に筋、余分在庫などのロスが以前は利益の3倍あった)が多い。イトーヨーカ堂では、死に筋排除と見せ筋を考慮して、POSシステム・マーチャンダイジングの確立と、ストアに

「頭」の機能を持たせ(従来は店は「手」の役割だった)地域性・季節・曜日・時間毎のニーズに即応した品揃えを可能にした。

●最適化とその周辺●

●第8回

日時：12月11日(金) 14:00～17:00 出席者：36名

場所：関西大学工業技術研究所会議室

テーマと講師：確率スケジューリング問題について 木瀬洋(京都工芸繊維大学)

ジョブの処理時間等のデータが確率変数として与えられるような機械スケジューリング問題の分類とそれらの計算複雑性について解説された。

並列待ち行列システムにおける客の割当て政策について大西匡光(京都大学)

標題の問題に対するこれまでの代表的な研究と発表者自身の最近の成果が報告された。

●待ち行列●

●第39回

日時：昭和62年11月28日(土) 14:00～17:00

場所：東京工業大学情報科学科会議室 出席者：36名

テーマと講師：●ネットワークシステムにおける諸問題(勅使河 可海・日本電気)

計算機ネットワークについて概説し、そこでみられる待ち行列の諸問題等提起した。

M/D/S待ち行列の平均待ち時間に対する新近似式(木村俊一・北大)

Cosmetatosの近似式をもとに新近似式を提案し、その精度等について検討した。

●第40回

日時：12月19日(土) 14:00～16:30

場所：同上 出席者：30名

テーマと講師：Probability Distributions of Delay and Interdeparture Time in Non-slotted CSMA/CD(高橋豊・京都大)

CSMA/CD方式について概説し、遅延時間等に関する確率分布を求めた。

複数の客のクラスがある単一サーバ待ち行列のスケジューリング(平山哲治・筑波大)

最適なスケジューリング政策について考察した。